

日本技術士会神奈川県支部 年次大会特別講演会(第112回CPD講座) 報告書 HP用

開催日	2022年7月28日(木)
開催時間	15:10~17:00
名称	年次大会特別講演会
主催	公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部
開催場所	波止場会館 4階 大会議室 および Web 中継
行事内容	講演会
参加人数	44名(会場27名+Web 17名)

内容

講演概要

【講演1】「技術士会の国際交流に務められた故吉武進也先生をしのぶ」

講師：日本技術士会 神奈川県支部 元支部長 金属部会顧問 神戸 良雄 様（技術士(金属部門)）

故吉武先生が 技術士会の副会長時代から、ミャンマー、中国、カンボジア、ラオス等の視察・技術講座提供を行い、特に、カンボジアでは 3 年間に亘り農業や環境(グリーンテクノロジー)に関する技術講習会を主催し、カンボジア国フンセン首相から第 1 級の友好勲章を授与された。また、技術士会業務の他、公益財団法人国民工業振興会や公益財団法人溶接接合工学振興会の専務理事を務められ、毎年数回の講演会を開催された。最後に神奈川県支部の賀詞交歓会等に参加された当時の状況を詳しく紹介された。

【講演2】「温故知新～黎明期の技術士会～日本技術士会を創設した大先輩の思い」

講師：日本技術士会 神奈川県支部 特別顧問（前支部長）清水 進 様（技術士(金属部門)）

故吉武先生には入会以来、金属部会、神奈川県支に関するご相談に乗っていただいた。

太平洋戦争敗戦後、吉田茂邸に優れた技術者等が招かれ、荒廃した日本の復興に技術者の奮起を促し、今後の技術界の課題は欧米のコンサルティング・エンジニア制度の確立が重要であると叱咤激励された。日本の復興にインフラ整備を進めるため優れた技術者がコンサルタント会社・団体を設立したが、技術指導に対価を支払う環境が整っておらず、職業として成り立たず、「日本技術士会」を創設した。しかし、技術の売買や技術指導に関する慣習がないため、一般人には理解されないことに危機感を抱き、「技術士」を国家資格としての権威化を進め、6年後、技術士法を制定した。1958年第1回技術士試験が実施され、土光敏夫、八木秀次等多くの著名人が受験し、合格している。しかし、70年経過した現在も大きな課題として「業務独占」「知名度向上」等の課題が残されている。



会場(波止場会館 4階 大会議室)全体